

東京三高会だより
第30号
平成25年6月1日発行

三木野ヶ原

東京三高会
青森県立
三本木高等学校
同窓会東京支部

発行責任者 佐々木文雄 / 事務局 〒335-0001 埼玉県蕨市北町 4-1-5-503 高谷隆二 Tel&Fax 048-442-5118 / 編集責任者 瀬戸口玲子



Anniversary 35th 創立35周年記念総会



会員の皆様、お変わりございませんか？ 昭和五十四年に創立されて以来、交流の場として続いてきた東京三高会は35周年、昭和五十八年創刊の会報「三木野ヶ原」は三十号となりました。その節目の年のお祝いに、七月七日（日）特別な懇親会企画で皆様をお迎えいたします。今年度は、東京早稲田の格式と伝統

東京在住の卒業生の思いが一つの渦になり産声を上げた東京三高会。一年一回の、母校を同じくする仲間との再会は、一瞬で高校時代に戻る時間、いつも懐かしさと温かさを感じました。そんな想いを積み重ねて、東京三高会は三十五回目を迎えます。

のある「リーガロイヤルホテル東京」が会場です。お食事は卒年が一緒の方とのテーブル着席をご用意いたしますので、ゆったりと久しぶりのおしゃべりをお楽しみいただけます。また懇親会のオープニングを、現在プロとして活躍中の卒業生と、毎回ご参加いただいている滝沢さん（佐々木会長の甥御さん）、そして彼らの音楽仲間による

素敵なミニコンサートの盛り上げていただくことになっていきます。楽しみですね！皆様、ぜひお声を掛けて多数ご参加ください。会場となる「リーガロイヤルホテル東京」二次会場も同ホテル一階「カフェユニ」(写真下)

前田正志さん(S48年卒)ファゴット / 東京藝術大学別科修了、同大学管弦楽研究部講師、東宝オーケストラなどを経て現在はフリーランスのファゴット奏者。「おくりびと」「おおかみこどもの雨と雪」他多数のTV・映画音楽の録音や室内楽、オーケストラ、「オペラシアターこんにやく座」の楽士として活動。2012年、初のソロアルバム「ワンドフルファゴット」発売。
鳥谷部良子さん(S56年卒)フルート / 日本大学芸術学部音楽科卒。同研究所終了。音楽学校「メーザーハウス」終了。現在、豪華客船での船上コンサートを始め、多数アーティストとの共演・レコーディング、ディナーショーやイベントなど全国各地で演奏活動。プリティッシュスクール

被災地・東北への思いをつなげて 卒業生による、ミニコンサート

in Tokyo、ジャズスクール・スタジオ・ピーテック講師。
多田順子さん(S63年卒)ソプラノ / 国立音楽大学声楽学科卒業。東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース声楽専攻修了。二期会オペラスタジオ第39期修了。第13回大曲新人音楽祭コンクール奨励賞受賞。「フィガロの結婚」伯爵夫人役他多数のオペラ出演やホールコンサート、合唱団でのヴォイストレーニングなど幅広く活動。二期会会員。
滝沢健作さん(H11年綾瀬高校卒)テノール / 東京芸術大学卒業。

多田順子さん



鳥谷部良子さん



滝沢健作さん



前田正志さん



東京国際芸術協会「ボエーム」ロドルフォ役、イタリア声楽教育アカデミー「西部の娘」ジョンソン役で出演。川崎市主催「滝沢健作ソロ演奏会」が好評を博しFMにて放送。第42回イタリア声楽コンクール入選。2012年イタリア各地演奏会に出演、現在日本とイタリアを往来しA.クピード、黒田安紀子各氏に師事。

三高卒業おめでとう——H25年3月卒のみなさん

小玉真美さん

私は早稲田大学に進学しました。テニス部、書道部、そして生徒会長も務めさせていただきこんなにも充実した高校生活を送ることができたのは多くの先生方、友人、部活の先輩、後輩のおかげだと思っています。この素晴らしい出会いは私に三年間という時間を一瞬のように感じさせ、これからの未来への大きな希望を抱かせてくれました。



左が私です

大学生活には不安もありますが、夢実現へむけ学業はもちろんサークル活動、アルバイトなど高校生活以上にたくさんのことに挑戦していきたいと思っています。三高で学んだことを活かし周りの人への感謝を忘れず早稲田大学という素晴らしい環境で自分の力を伸ばせるよう努力していきたいです。

鶴田直樹くん

私はこの春から横浜国立大学で学んでいます。三高で過ごした三年間は本当に密度の濃い時間でした。文化祭、体育祭をはじめとする学校行事は友人たちと盛り上がり、とても充実していました。また部活動では演劇部と卓球部を兼部し高総文、高総体のどちらにも参加。このような多くの活動の中では辛いこともありましたが、乗り越えることができたのも、憧れの大学に合格することができたのも、友人たち、三高の先生方、家族の支えがあったからと確信しています。

関東での大学生活は、青森県で味わうことのできない体験ができるのではと期待でワクワクしております。その中で新たな経験を積み、社会に出て活躍できる人間になることを心に誓い、新天地でもチャレンジしていきます。



上段右から2番が僕です

菊池文子さん

私は中央大学に進学しました。今、自分の希望した進路を達成できたのは、三年間を通して、たくさんの人からの支えがあったからです。私は三年間で、自分のやりたい事や目標が何度も変わっていききました。そんな私に、先生や両親も戸惑うことも多かったと思います。しかし、悩み抜いた末に決めた今の進路には、心から満足しています。悩んで多くの事を調べたからこそ、この結果が得られたのだと思います。

春から文学部で、英語圏の文学・文化を中心に学んでいます。大学生活は、勉強面以外にもたくさんの新しい体験が待ち構えているので、不安と期待が入り混じった気持ちです。何事にも「挑戦する」という気持ちで臨み、今しかできない事を一杯頑張りたいと思っています。



右端が私です

角田康くん

私は千葉大学に進学しました。私が無事に目標としていた大学に合格することができたのは、友達や先生方はもちろん、三高に関わってきたすべての方々のおかげだと思っています。三高での生活はテストや講習が多く、なかなかハードなものでした。しかしこのハードな生活を経験したからこそ、希望の進路を実現できました。三高で勉強できて本当に良かったと思います。

大学ではまわりの環境が大きく変わり、悩む場面も多々あると思います。しかし、三高の卒業生として、将来人の役に立てるよう様々なことを学び、力をつけたいと思います。



あと一歩足りない？

高島 雅仁 (S47年卒) 専門紙勤務



て笑ってしまいました。応援席は「こんな見たことない」「信じられない」などの声がおさまらず、試合はやむなく中断。ようやく静かになって再開しましたが、結果は

三高時代の三年間はとても充実していました。一日も休まず(遅刻を一回したので皆勤賞ではありませぬ)、三沢から十鉄に乗って通い続けたのも、ただひたすら学校の友人たちと日々会話が楽しかったからです。学内外でのいろいろな経験は、いまに至るも私の財産となって残っています。

もちろん、8組の大敗でした。それでもコートに去る彼らには、あたたかい笑顔と惜しみない拍手が送られました。めでたし、めでたし。(武蔵野市在住)

恩師の方々に対しては、あまり従順ではなく、時には無謀な論争を挑んだりした問題児でしたが、部下を持つ身になってみると、「生意気な口を利く若造」と対峙するにはそれなりの忍耐力が必要になっていきます。改めて当時の皆さまの温情あふれる対応に感謝するばかりです。

慣れ親しんだ木造校舎は私たちが卒業した年に焼失してしまい、たまに帰省した際には必ず利用した十鉄もついに廃線となりました。が、思い出はいつまでも残ります。カメラとの出会いも三高時代で

す。友人の一眼レフのファインダーを覗いた際に覚えた感動がすべての始まりです。フィルムからデジタルへと時代は変わっても「カメラ好き」は続いています。海軍関係の日刊専門紙に勤務して36年余ですが、仕事でもプライベートでもカメラは常に側にありました。個人的には、余裕があればメーカー各社それぞれの企業努力に敬意を払い、主要8社すべてのカメラ(レンズ交換式)を保有して愛でたいところですが、いまのところそれには遠く及ばず「身の丈にあった」お

付き合いたいというところでは、肝心の「腕」の方は「写ってる」程度なので、自慢できるものではありません(にもかかわらず、図々しくも2年前から東京三高会総会の撮影担当しています)。また、どうい

わけか昔から他人に写真を撮られるのが嫌なので、いつかは来るその時に備えて「遺影」も自らの撮影で用意したいのですが、これまたなかなか難しく、没の山です。三高時代。無欠席だが無遅刻ではない。「あと一歩」(いや、もつと?)足りないのはいまも同じかも知れません。(千葉市在住)

未知の世界で 気づく自分

ウツドのり子 (H2年卒) 歌手・モデル



私の転機は二十七歳の時に訪れました。一九九九年のミスユニバースジャパンにてファイナリストに選出された事をきっかけに、歌手・モデルとしての活動をスタートさせたのです。それまでは建築設計事務所で意匠設計の仕事に携わっていました。未知の世界へ足を踏み入れる事はやはり相当な勇気が要りましたし、まして二十歳で芸能の仕事をはじめるのはかなり遅すぎたのではと悩みましたが、一度しかない人生、こんなに素晴らしい機会が与えられたのなら！と、その一歩を踏み出す決心をし



たのです。そして実際に私の人生は大きく変わり、今まで以上に自分の生き方を愛おしく感じるようになりました。まずは、仕事を通じて様々な経験をしました。レコーディング、ライブステージ、撮影、イベント等々。自己表現が苦手だった私はどこへ行ってしまったのだろうか、と自分自身ビクビクしてしまいました。そして、海外の方々も多く触れ合うようになった事で、英語を学ぶチャンスに恵まれました。異文化の人々と接する事は、日本人としての誇りを再認識出来る機会でもあり、自分を見つめ直す事で、物事に対する考え方もだいぶ変わって来たと思います。「自分の心に耳を澄ませ、自分の人生は自分のチョイスで歩みたい」と思うようになりました。それは「生き方に責任を持つ」という意識にも繋がります。様々な事柄に対して前向きに取り組めるようになったと思います。もちろん失敗が全くないわけでもありません。

こんなことない 見たことない 田中優子 (S58年卒) 主婦



年に一度のクラス対抗、これは盛り上がりました。どのクラスも一丸となって戦い、応援しました。ある年の夏、男子バレーボール戦でのこと。8組は、強すぎる相手にお手上げでした。相手のエースにいいようにスパイクを決められ、

かかったと言えば嘘になります。それでもやはり自分で選択した道は、笑顔で乗り越え次に繋げる意欲というものが湧いて来るのです。現在、人生のパートナーである主人と共に音楽、エンターテイメント業界の仕事に携わっています。歌手やモデルとしての仕事は、主婦業の陰に隠れつつ時々オフアールがあればこなすといった程度に留め、今は主に自宅スタジオで作業する主人のアシストをしています。そして個人的には、プロを志し始めたカメラで、いつか十和田の美しい自然を写真に収め世界中に発信出来たら素敵だなと、新たな野望を抱いている今日この頃です。(千代田区在住)

鬼コーチのしごきみたいになっていました。ほぼ勝負が決まりかけた頃、へろへろになった8組がコートの中で円陣を組み、なにやら真剣に話し合っていました。8組と云えば国立理系クラス、これはスパイクを止める妙案が浮かんだのではないかと期待しました。試合再開。8組のサーブを相手チームがなんなくレシーブ。高いトスが上がり、エースが華麗にジャンプしてアタックしようとしたその時、いきなり8組の6人全員がネットに並び、両腕を広げて一斉にジャンプしたのです。そう6枚ブロックです。観客は見たこともない光景を目を見張りました。ついに止められるか！

平成二十四年七月七日(土)、今年も霞が関の日本記者クラブ宴会場にて七十五名の参加のもと和やかに開催されました。昨年からスタートした当会WEBで会を知ってくれた12名の初参加者を迎えました。総会では昨年度の活動報告がつつがなく了承されました。赤坂校長からの、中高一貫校となった三高の第一期生初の大学受験へ大きな期待や文武両道精神で大きな成果を上げていく部活動の様子を興味深くうかがいました。二次会も大勢でなごやかに盛り上がりました。35周年記念総会での再会が楽しみです。



第34回「東京三高会総会・懇親会」開催

三高の今

木村智志教諭(S52年卒)

現役三高生の活動や声をお届けします

文科省のスーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定から三年め、本校三年生は初の英語による研究発表に取り組みました

SSHリポート

野月徳実(三年)

昨年七月、SSHのランゲージSSの活動として、二年生時に行った課題研究の英語での発表会がありました。

初めての取り組みだったため、活動の始めは戸惑うことも多く、パソコン操作、英訳、文の暗記やグラフの作成など、各自が得意分野を生かして準備を進めていきました。遅くまで学校に残って活動

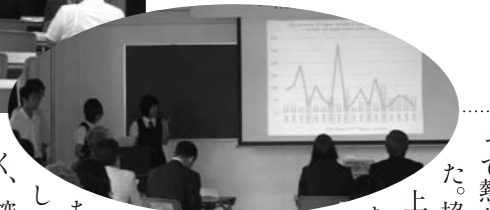
SSH English Challenge ~Research Presentation~

【テーマ】

十和田市周辺部の酸性雨の状況 The effects of acid rain around Towada City

【発表者】

大木なつみ/折田ゆかり/林綾菜/野月徳実



する班や、自宅にデータを持ち帰って熱心に作業する班もありました。協力して一つのものを作り上げていくことは大変でしたが、楽しんで作業を進めていくことが出来たと思います。また、英語科の先生やALTの方々に、文法や発音を丁寧に教えていただき、実用的な英語の力が高められました。発表では、プレゼンはもちろん、質疑応答も英語でした。緊張している人も多く、控えた教室では、発表の直前まで原稿を読んだり、発音を確認し合ったりしました。発表では、目の前にたくさんさんのALTの方や外部からいらした先生方がずらりと座っていました。生徒の前での発表とは違ったかなりの緊張感で、暗証した英文を話す時も、ふとすると頭から文が抜けてしまいそうでした。外国の方々と英語の先生などのスピーディな英語を聞き取り、その場で答えを練ることは並

大抵ではありませんでしたが、SSHだからこそできた、貴重な経験であったと思います。どの班も準備してきたことを出し切り、満足いく発表をできたと思います。この経験は、これから大学で学び、自分たちの力を社会で生かしていく上で生きてくる、とても重要なものだと思います。これから、先輩たちに今回の発表をさらに発展させ、反省点を改め、より良いものを目指して頑張ってほしいと思います。

「トビックス」

その1 「DREAM三本木」 昨年十一月、科学好きの裾野を広げ学力伸長を目的として創立された第二回「科学の甲子園」青森県大会において、本校二年生七人で結成された特別編成チーム「DREAM三本木」が見事優勝しました。県内七校から十二チーム(八十三名)が出場し、筆記競技(理科・数学・情報)に取り組み、総合得点を競いました。そして今年三

月に兵庫県で開催された全国大会に県代表として初出場し、四十七都道府県中総合十四位、特にクリップモーターカーの部第三位と大健闘しました。

その2 部活動報告

平成二十四年度も、大変優秀な成績を収めました。ハンドボール部男子、さまざまな部女子が高校総体優勝、インターハイに出場しました。その他の部活動の活躍ぶりは本校のホームページをぜひご覧ください。

その3 「平成二十五年 本校同窓会総会・親睦会」のお知らせ

昨年度の総会で役員改正がありました。長年ご苦労いただいた苦米地俊乗氏から今泉湧水氏に会長が引き継がれました。新役員体制での初の総会懇親会となります。帰郷の折にはぜひご出席ください。日時/八月三日(土) 午後五時~七時 場所/富士屋ランドホテル 会費/四〇〇円 連絡先/三高同窓会事務局(〇一七六一二三四一八一)

東京三高会役員

(任期:平成23年7月~平成25年7月総会まで)

Table with 3 columns: Position, Name, and Graduation Year (卒年). Includes roles like 名誉会長, 顧問, 相談役, 会長, 副会長, 理事, 監事.

東京三高会 オフィシャルサイト 近日リニューアル! 世代を超えて http://tokyo-sanko.net/ ブログも開設しました。ぜひご覧ください。

【編集部だより】 特別企画として、卒年ごとの集いを長く続けているグループにスポットを当てました。どの会も結束力の強さの陰に、熱く支える「幹事さん」の存在がありました。インターネットは、人と人とをいつでもどこからでも繋げてくれるかも知れませんが、実際に会って語り合う仲間との時間は何物にも代えられません。皆さんはどんな集まりを持っていますか? ぜひお寄せ下さい。